

Q10 COVID-19 感染患者に対する体位ドレナージの有効性は？ 感染対策としての注意点は何か？

Answer

適応症例について

- ・粘液分泌過多であり、気道分泌物の除去が困難な症例が適応になる。COVID-19 に関連する重症

ARDS 症例への腹臥療法の有効性が報告されており、成人であれば 1 日あたり 12～16 時間の腹臥位換気の実施が推奨されている。

感染対策としての注意点について

- ・患者へのリハスタッフの接触が最小限となるために、理学療法介入は臨床的な適応がある症例にのみ提供する。

・感染防護具の着用による飛沫予防策を徹底し、患者と密接に関わる場合やエアロゾルを発生させるリスクが伴う場合は空気感染予防策も適切に行う。

- ・患者が人工呼吸器を装着していない場合は、患者にもサージカルマスクを着用することが推奨される。

詳細資料

- ・日本集中治療医学会「急性期病院における COVID-19 の理学療法管理」

https://www.jsicm.org/news/upload/Physiotherapy_Guideline_COVID-19_V1_ja.pdf